

(議題2)

令和7年度事業の実績報告と分科会実施報告について

(1)令和7年度事業の前年度からの見直しの概要

王越線

王越線(木沢行き、青海行き)

○バス乗務員不足への対応のため、全体的に減便・一部区間廃止のうえ再編

・(木沢行き)平日… 下り10便、上り9便 → 上り5便、下り5便(デマンドタクシーも運行)

土曜… 下り9便、上り8便 → 運休(デマンドタクシーが運行)

日祝… 下り5便、上り4便 → 運休(デマンドタクシーが運行)

・(青海行き)平日… 下り6便、上り6便 → 一部廃止・再編

↓

○再編・新設 ※共創事業として実施予定

・林田循環… 『坂出駅(坂出営業所)⇒東梶⇒ハローズ林田店⇒米出⇒坂出駅』のルート新設

平日6便、土日祝日5便設定(年末年始は運休)

・デマンドタクシー… ハローズ林田店で王越線(林田循環)と接続

(東北エリア) ハローズ林田店から王越地区・松山地区方面を運行

平日土日祝日5便設定(年末年始は運休)

循環バス

○バス乗務員不足への対応のため、土日祝日の朝夕便を減便

日祝日… 11便 → 9便(7:30便、17:30便を減便)／土曜日… 14便 → 9便(6:30便、7:30便、17:30便、18:30便、19:30便を減便)

○西ルート:商業施設(マルナカスーパーセンター宇多津店)への乗り入れによる利便性向上

○東ルート:市立体育館経由への変更による利便性向上

島田岡田線

○バス乗務員不足への対応のため、夜間便を減便

・下り11便・上り13便 → 下り10便、上り12便(坂出駅18:40発、NEWレオマ20:00発を減便)

デマンドタクシー

○運行区域の再編

・府中・西庄地区／加茂・神谷・林田(一部)地区 → 統合して「東南エリア」に

・川津地区 → 大池町、小山町への拡大し、「南エリア」に

・ハローズ林田店から王越地区・松山地区へ向かう「東北エリア」を新設

○運行日、運行便数

・平日上下4便 → 平日土日祝日5便(年末年始運休)

(2)令和6年10月以降の取り組み

土井会長研究室(大阪大学)との連携調査・研究

- ・坂出市の取り組みを調査した査読論文、久下拓海ほか「経営資源制約下での運行・運賃・決済に関わる統合的公共交通施策の検討と影響分析」が実践政策学に掲載

https://www.jstage.jst.go.jp/article/ppseb/11/1/11_5/_article/-char/ja

- ・今年度も、アンケート調査や、地域でのワークショップを実施



視察受け入れ、対外向け事例紹介

- ・議会行政視察5件、自治体公共交通担当視察2件
- ・四国運輸局長視察
- ・西バルカン地域からの研修生視察(JICA)
- ・WEBセミナー2件
- ・国交省主催「交通空白」等解消官民連携プラットフォーム ピッチイベント
- ・「持続可能なまちと交通をめざす再成塾」四国ツーデイセミナー



その他モビリティマネジメント

- ・スマートバス停導入
- ・(継続)TicketQRで公共交通無料デー、中高生サマーパス
- ・地域事業者との「持続可能な公共交通の実現に向けた共創に関する連携協定」締結
- ・利便増進計画推進事業(効果検証資料作成、タブロイド紙作成)
- ・地域イベントに出展(琴参バス、大和タクシー)



自動運転社会実装推進事業

- ・坂出自動車学校とのコンソーシアムで、11/15～12/10の26日間実証運行
- ・期間中1,067人が利用し、利用者から好評で、将来的に実装を求める声が多数

働きたい 住みたい 子育てしたい 共働きのまち

広報 さかいで

2025
11
No.1424



予約不要 乗車無料

坂出市内で自動運転バスに乗りませんか?

〈期間〉2025年11月15日(土)～12月3日(水)

自動運行レベル2で運転手も乗っているから安心

流線型の近未来的なシルエット!

坂出自動車学校とコンソーシアムを組んで実施!

LINE 公式アカウントから運行状況 路線ダイヤを確認できる!
(アンケートも行ってあります)

お問い合わせ 坂出市政策部政策課 TEL. 0877-44-5001

坂出自動車学校

坂出市 SAKAIDE CITY

琴歩バス 百十四銀行



令和7年交通関係優良団体大臣表彰(地域公共交通部門)受賞

- 「実行性が高く、地域の実態に即した地域公共交通利便増進実施計画を策定し、バス路線の再編、ゾーン制運賃、マイナンバーカード連携による市民割運賃等の複数の施策を効果的に組み合わせることにより、利便性向上が利用者増加や収支改善に繋がり、更なる利便性向上が可能になるという好循環を実現するなど持続可能な公共交通網の構築に取り組んだ」として、大臣表彰を受賞



坂出市地域公共交通活性化協議会（香川県坂出市）

令和5年9月、地域公共交通利便増進実施計画を策定し、バス路線の再編のほか、ゾーン制運賃やキャッシュレス決済の導入などの施策を効果的に組み合わせることで、利便性向上→利用者増加→収支改善→更なる利便性向上という好循環を実現し、持続可能な交通網を構築。



国土交通省ホームページ掲載の取組実績

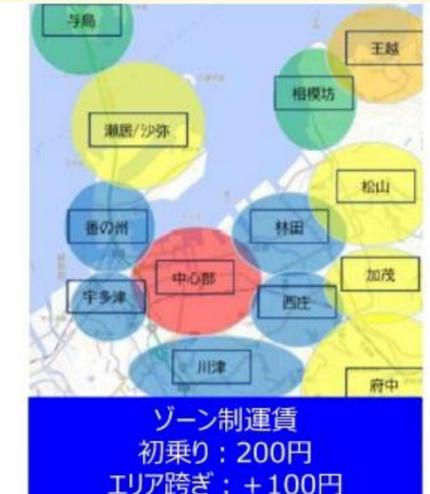
1. 多様な主体の参画

(1) 協議会における会議

- 学識経験者、公共交通事業者、市民団体、運輸局など幅広い関係者が参画。詳細な利用実績や現場からの意見等をもとに、効果検証や計画見直しを実施。

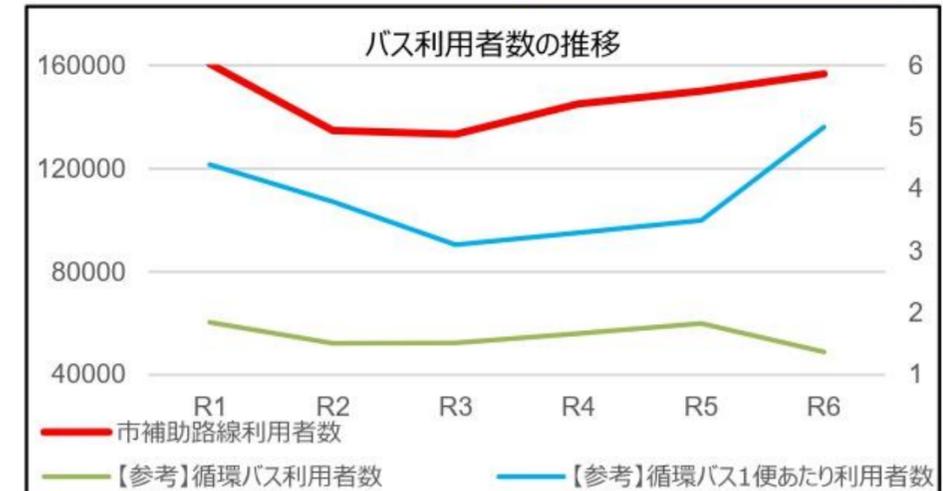
(2) 地域との連携

- バス路線が減便となる地域において、新たにデマンドタクシーを導入した際、**スーパーマーケットや病院から敷地内を乗降場所として提供**いただいたほか、**住民団体が広報やアンケートに協力**。



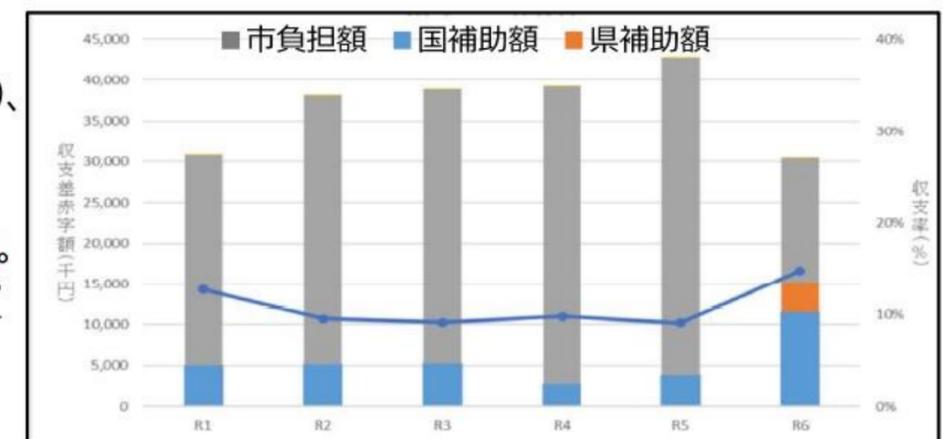
2. 創意工夫

- 「地域公共交通計画等の作成と運用の手引き」を参照しつつ、**市自らが外注に頼ることなく利便増進実施計画の素案を作成**し、運輸局や交通事業者と密に協議を行い、ブラッシュアップすることで、**限られた予算とスケジュールの中で、実効性の高い、地域の実態に即した計画を策定**。
- 計画に基づき、市内バス路線の路線再編、パターンダイヤ化、ゾーン制運賃やキャッシュレス決済・マイナンバーカード連携による市民割運賃の導入など、**複数の施策を一体的に実施**。**減便を行いつつもエリア全体のバス利用者数は増加**しており、**効率的な運行の実現**とともに、**施策間の相乗効果が発揮**。
- マイナンバーカード連携による市民割運賃の導入にあたり、デジタル田園都市国家構想交付金を活用。また、**積極的に視察の受け入れや事例紹介を実施**。



3. 自立性・継続性

- ゾーン制運賃による運賃収入の確保、効率的な路線再編、複数の国庫補助制度の活用等により、収支が改善され、**赤字補助額（市負担）が令和6年度は前年度比で61%減少**。それに伴い、キャッシュレス決済のランニングコストや、市民割の運賃補填等の利用促進事業継続のための財源が確保され、**利便性向上→利用者数増加→収支改善→更なる利便性向上**という好循環を実現。
- キャッシュレス決済の導入に伴い、**ODデータの取得**が可能になったことで、**今後、路線再編の検討にあたって、より実態に即した検証、立案**が可能。



(4)進行中の取り組み

- ・免許返納前からの公共交通利用を呼び掛ける動画&パンフレットの作成(香川県地域活力向上のための市町等総合交付金)
 - 坂出自動車学校と連携し、高齢者講習において放映・配布予定
- ・公共交通コンシェルジュ育成研修(香川県地域活力向上のための市町等総合交付金)…1/19、1/20開催
 - 公共交通の必要性や、スマホを使った最新ツール等を学び、公共交通について案内できる人を増やす